

# E.R.F.C.

## Newsletter 2002 vol.1

### 【2002 年度総会報告】

去る3月24日に八丁堀の労働スクエア東京で2002年度のE.R.F.C総会が開催され今年度の活動について話し合われました。当日はスタッフに加えて2名の参加者を迎えて活発な話し合いが行われました。(報告:わだ)

#### スタッフ改選

今年度の事務局は以下の通りです。ひでまる会長がこの春から愛知県在住になったため、会報発行を分業する目的で会報印刷・会報進行の役職が新設されました。それ以外の顔ぶれに変更はありません。

会長:	今中 英夫
副会長:	和田 大
会報編集長:	今中 英夫(兼任)
会計:	高橋 始史
清里実行委員長:	小関 秀樹
事務担当:	角山 恵一
ウェブ&メーリングリスト管理人:	和田 大(兼任)
渉外:	渋谷 康人
会報印刷(新設):	高橋 千佳子
会報進行(新設):	平口 紀生

#### 今年度の活動方針

##### ・安全運転研鑽会&ピクニック

今年はピクニックのみの開催とし、安全運転研鑽会については予定会場が閉鎖となってしまったので開催を見送ります。今年中に代替の開催地をみつけて来年には復活させたいところです。なお、ピクニックは6月の開催を予定しています。

##### ・清里ミーティング(11月3日予定)

恒例の清里ミーティングを今年も開催します。今年も素敵なゲストをお迎えして、楽しい秋の一日をみなさんと一緒に過ごせるのをスタッフ一同楽しみにしています。

##### ・会報の発行

今年も年6回の発行を予定しています。毎年言ってますけど慢性的原稿不足なのでスタッフ一同がんばりますが、スタッフの原稿だけだと不足すれば非ずたの話題が多くなりがちです。

...ということでお便り頂けると採用の可能性大です。お気軽にメールあるいはお手紙下さいませ。

##### ・活動の活性化について

これも毎年総会のたびに話し合われていることですが、清里以外にも小規模なイベントを開催できれば...という話がありました。具体的には以下のような案が話し合われましたので今後実施を検討していきます。

\* スタッフの定例会のうち何回かを昼間のお茶会にして広く参加者を募ってはどうか?(第1回を4月6日に行いました。)

\* 子供連れでも参加しやすいイベントを行ってはどうか

\* 小規模なツーリング等年3回程度行えると良いのではないかな?

##### ・Webとメーリングリストについて

Webの更新頻度が低く、コンテンツも増えていないという反省がありました。今年では会報発行後に会報のヘッドラインを載せる様にしてコンテンツの充実をはかっていくことになりました。

また、メーリングリストに流れたトピックをピックアップして会報に反映することで会報の内容を充実させていきます。

---

---

### 【役員自己紹介】

文字通り、スタッフの自己紹介です。

#### 会長:今中英夫

愛知県岡崎市に引っ越しました。でも会長は続けます。インターネットとかパソコンとか、いろいろ便利なものがあるおかげで引っ越しても会報も続けられますし。今年も、今まで以上によろしく願います(ペコリ)。東海方面のみなさん、遊んでください。

#### 副会長:和田大

昨年から Web とメールリスト管理人に加えて副会長を担当しているわだです。...がしかし、本人に副会長としての自覚が希薄なものであいかかわらず「管理人」を自称することの多い困った奴です。(先日の総会でも副会長としての存在感が薄いと言われてしまいました...)

さて、今年は「Web の更新が遅い管理人」の汚名を返すべく会報のヘッドライン掲載など更新頻度のアップに取り組んでいきたいと思えます。ハイ。

今年は残念ながら中止となってしまった安全運転研鑽会も来年には復活させたいと会場探し継続中ですので引き続き情報募集中です。

#### 会計:高橋始史

と、いうわけで今年度も会計担当の高橋です。世の中不景気の折り、皆様にお支払いいただく貴重な 3 千円を決して無駄にはすまい、と思う今日この頃でございます。今年度分をお支払いいただいていない方は、まだ間に合います、今のうちにぜひお願いいたします。

#### 清里実行委員長:小関秀樹

昨年に引き続き清里ミーティング実行委員長となりました豆蔵こと小関です。今年も清里ミーティングの日程が決まりました。今年は大胆にも国民の休日である 11 月 3 日(文化の日)に開催となりました。さらに当日は日曜のため、翌日は振り替え休日となり、例年よりちょっとだけ楽に参加してもらえるかな? という想いと、当日は一般の人達でも混雑するんじゃないかな、と言う心配とが交錯して今から夜も寝られない日々が続いております。(ウソです)皆さん、どうぞ今から 11 月 3 日は清里のために予定を空けてください。

#### 事務担当:角山恵一

相変わらず今年も事務を担当します、角山です。近年会報の方では妻の拙文がお目汚ししていることが多いので、そちらの「つをやま」の方が有名かな? なんて思っています。(もともと人望はそっちの方が上でしたっけ!) 去年の清里では受付も譲ってしまい、じゃんけん大王も広島の人持たてかかれそうな勢い、、、「つをやま」風前の灯ではありますが、これも時代の流れというものです。なんのこっちゃ。

事務を担当していると、気疲れすることが多いのは会社なんかと一緒にだと思えます。けれど、例えば毎年速達で真っ先に届く清里エントリーはがきに込められた愛をイチバン最初に受け取れる喜びは、事務担当ならではの当たりです。まあ、そこに喜びを見出せるから裏方が勤まるとも言えますけれど。今年も「初心者の会」全開? で楽しんでいきたいと思っています。気が向いたらぜひ声を掛けてください。では、アディオス!

#### 会報印刷(新設):高橋千佳子

今年度新設された、会報印刷担当の高橋千佳子です。文字通り、会報発行時の印刷を担当します。プリンタメーカーに就職してもうすぐ丸 2 年、早いものだなあ...と一人感慨にふけております。でも、会報印刷に使うのは自社のプリンタではありません。多少なりとも、プリンタの扱いに慣れているところが利点でしょうか...? 今後皆様が手にする会報は、私が心を込めて大事に大事に印刷いたします。はい。

#### 会報進行(新設):平口紀生

ひでまる会長の引越しに伴い、会報発行の円滑化と原稿手配の役目を中心とした「会報進行係」が新設されました。担当させていただきますヒラグチです。進行係といふとなにか事務的に処理する様に思われるかもしれませんが、むしろ役割を越えて会報に関することならなんでも積極的に関わらせていただこうかと思っています。2 ヶ月に 1 回の発行予定ではありますが、ツーリング、御茶会やオフ会等々の伝言板として、又、みなさんの近況やメッセージなど、今まであまり出来なかった会員同士の交流の窓口として、どんどん御利用いただければと思います。御感想や御批判なども御待ちしておりますので、どうかよろしくお付き合いくださいませ。

## 【ピクニック・ミーティングのお知らせ】

総会報告にあった通り、富士高原サーキットが閉鎖になってしまいました。走り系の方も和み系の方も一緒に楽しめる貴重な場所でした。替わりの会場が見つかるまでなにもしないのも寂しいですので、ピクニックの方だけ、とりあえず、やりたいと思えます。

今回は東京近郊の集まりやすい所、ということで、小金井公園で開催させていただきます。芝生の広々とした公園です。遊具や子供広場などもありますので、たまには家族揃ってご参加ください。もちろんロードスター以外での参加 OK です。

尚、会場となる小金井公園では火気使用エリアが限定されていますので、今回はおべんと、又は持ちよりの手料理、ケータリング等のみとし、加熱調理無しです。よろしく御願いたします。集合場所その他は以下を御参照下さい。

では、たくさんのお参加を御待ちしています。

### 記

#### 「E.R.F.C.ピクニック・ミーティング」

日時: 平成 14 年 6 月 1 日(土)10:30 頃集合/ 随時開始

会場: 東京都小金井市関野町 1-13-1(管理事務所所在地)東京都立小金井公園

集合場所: 第一駐車場(正面口から入る広い方の駐車場)集合後芝生エリアに移動、開宴。

駐車場料金: 最初の 2 時間は 500 円その後 30 分毎に 100 円追加

おねがいなど: 当日みんなで食べるもの・飲むものを御持参下さい。敷物・椅子・テーブル等可能な方は御持参下さい。ピクニックサイトでは火気使用禁止です。当日は家族連れ等の一般の来園者も多くいますので、自己責任にて、節度ある行動をお願いいたします。

連絡先等: 特に出欠の返事・連絡は必要ありませんが、もし質問や悪天候による中止等の確認がありましたら、以下へおねがいます。

前日まで: 電話・FAX: 03-\*\*\*\*-\*\*\*\*

当日: 携帯 = 090-\*\*\*\*-\*\*\*\*

## 【総会に出席して】

私事ながら 長い間(約12年間)勤めてきた会社を辞めブーになりました。次の仕事は何をやるのかな?と、しばらくは退職金でしのぎながら探し、当面は暇なので総会に出席しました。(失礼!)

何といっても都心の隣の千葉県に住んでいるとはいえ、最低一時間半はかかってしまう所に住んでいるから、いつもはなかなかいけないので

2回目の出席となる総会ですが、清里以外ではなかなか会えないスタッフ(中には意外なところで会う人もいますが)のみなさんからどんな話し合いが出るのか?それに対し自分の考えや思ったことを話そう!と書いていました。「このままではERFCの存続も危うい!」配られた議題にこんな物騒なことが書いてありました。要は運営スタッフの構成や会報を書いている人が毎回同じのことで、マンネリ化している会報など、多少気にはなっていた事なのですが、実際にスタッフの中から聞くと、改めて実感してしまいました。自分自身、たまに他のイベントミーティングなど参加や手伝いをするけれど、運営スタッフの苦勞は相当なもので、清里ミーティングなら会場のセッティングからゲストの接待、又、ケガや事故など不意の事態への対応、はたまた会報などの発行物なら原稿の收拾から印刷発行まで(自分も昔、車関係ではないけれどサークル機関誌発行をやっていました)など数えきれないほどの苦勞があると思います。

そんな中で自分に何ができるか?今までに何をしてきたのか?清里ミーティング以外では全くの「幽霊会員」なのに、みんなに名前だけは憶えてもらって...申し訳ない気持ちになりました。そこで考えたのが、安直とは思いますが、会報への投稿です。今までにもRCOJの会報には何回か書いたことがあるのですが(去年の清里の後にもちょっとだけ載りました)思っていたにも関わらず、一度もERFCの会報には書いたことがありませんでした。ロードスターに関しては、一年のうちに何度もツーリングやモディファイ(そんな大層なものではありませんが)、人との出会いなど、いろいろな出来事があるのに...これからは少し(ちょっと弱気)書いてみようかなと思っています。まあ、そんなに気を張ってばかりで無理に色々やろうとして無くなっていったクラブもあると思うし、まず今を続けていくのが大事だと自分は思います。他の会員のみなさんもそう思いませんか?まずは身近な出来事(車に関わらず)や最近思うことなど、つまらないこと、短いことでもいいから書いてみるとか、考えてみませんか?(長谷川浪次郎)



かなりぶれてますが...左から加藤さん、長谷川さん、奥田さんです。

## 【お便りコーナー】

御無沙汰しています。去る3月17日豊島園で開催された「CG DAY at 40」に行ってきました。今回はトークショーのゲストにポール・フレール氏が招かれていました。その後サイン会が予定されていたので、36年前に買った「ハイ スピード ドライビング」を持っていきサインをもらいました。当時、私は15才の高校生で当然免許もまだでしたが、自動車大好き少年で熱心な「カーグラフィック」の読者でした。初めて見るPF先生は数カ月前にバイクで事故ったとかで杖をつけていました。そのせいか、あるいは85才という歳のせいか、写真で見るとは老けた感じでした。

ところで1989年式の私のロードスターですが20年30年前の車がたくさん来ている会場ではひよっこみたいなものでした。この車、13年目ですが、まだバッテリーは交換していません。先日11111kmを突破しましたが概ね快調です。ただ燃費がほんのちょっと悪くなった気がします。それと乗り心地、去年ショックアブソーバーは交換したのですが、やっぱりブッシュを交換しないとダメなのかなあ?(No.171 吉本豊)

子供が近日内にマニュアルでライセンスを取ります。ロードスターは子供に取られそうです。ライセンス取ったらまず箱根へ連れて行って練習です。(No.242 中澤伸矢)

今年は12年目の車検となり、何が出るかと恐れています。無事に終えて、清里に行けることを楽しみにしています。(No.599 永井義章)

大変ご無沙汰しております、田浪@プラモマイスターです。遅くなりましたが、今年度会費を定額小為替にて送付させていただきます。

さて、私のRSですが12年目を迎えて元気ではありますが、このところ随分とその“役割”が変わってきています。

購入後3年くらいはカスタマイズが楽しくて、外装・内装と中心にあれこれと手を加えていました。その後サーキット走行の楽しさにはまり、ロールバーを入れたり脚を固めたりと機能部品のチューニングに金と時間をつき込んでいました。この病気もノーマルエンジンのまま、日光サーキットで自分の満足のゆくタイム(45秒台)を出したことにより一応の治癒をみました。(これ以上やるにはエンジンチューニングが必須ですが、飛躍的に金がかかるので。)ここ2年自転車(ロード)にはまっています。レース会場までRSに自転車を積んでいきます。

ただ一つ変わらないのが、常に助手席は取り外してありそこが有効なキャリアスペースになっているということです。あるときは、Sタイマー式が、冬場はスキー用具一式が、そして今はロードレーサー式が収納されています。人間が乗った回数は両手・両足の指の数に満たないですね(笑)。

あと一台ステーションワゴンが欲しいのですが都内で2台持つのは至難の業でありしばらくは、トランポRSが活躍してくれるかと思えます。清里M会場あたりにロードをもって行って(自分で)はしてようかな。(No.311 田浪優)

Dear My ロードスター様

毎日会っているのに、こうして改めて手紙を書くのは初めてですね。三台目のあなたと会ってもう6年の歳月が経ちましたが、知ってましたか?今でもあなたに乗っている時はワクワク、ニヤニヤしてるんですよ。思えば初めて雑誌で黄色いクラブスポーツを見て以来、黄色いあなたが発売

になるのを心待ちに、毎週ユーノスに通ったのも楽しい思い出です。通った甲斐あって最初のあなたを抽選で獲得した時には、嬉しくて塗装が無くなるほど毎日ピカピカに磨いていましたっけ。

3年間で12万キロ走行し、初めての車検を前に、事情により1800のラグナブルーに乗り換えただけ、やはり黄色いあなたが忘れられず、3回目の乗り換えになったんですね。

その後、転勤を機にERFCに入会し、僕もあなたも新しい友人をたくさん得ましたね。

思えば、普通、車を選ぶ事によって人生が変わるなどと考える人はいないと思います。しかし、今思うと僕はあなたを選んだ瞬間から確実にそれまでとは違う生活に飛び込んだのです。

今まで消極的だった僕がサーキットやジムカーナに参加するなんて、おそらく他の車ではありえない事ですからね。

そして早、19万キロ、僕のロードスター人生も40万キロを超えました。僕もあなたもすっかり年を取ってしまいました。でも今の所あなた以外の相棒は見つからないので、ゆっくり一緒にの時を過ごして行きましょう。仲間たちと一緒に。

じゃあ早速、洗車にでも行きましょうか、最近あまり洗ってあげてないですからね。(No.687 加藤一二美)

今年の3月に今まで乗っていたNA8のシリーズ1からNB2の限定車「MVリミテッド」に買い替えました。今までNBが発売された時もNB2が発売された時も、さんざん「NBは絶対には買わない！」と断言していた私。。きつとまわりの人もまさか私が買い替えるなんて思ってなかったでしょう。もちろん私自身もですね(笑)。NB2が出て1年以上経ち、嫌と思っていた顔も見慣れてきました。ちょうど去年の清里ミーティングの頃からでしょうか？NBもアリかな？と思うようになり、買い替えを真剣に考えるようになりました。今のNAにさらにお金をかけて乗り続けるのか？それともNBにするか？考え方は人それぞれですが、私はこれからずっとロードスターに乗り続けるために買い替えを決意しました。もちろん今でもNAは大好きですし、やはり手放すのは悲しかったです。余裕があるのならば両方持っていたいところでしたけどね。。

はじめは予算的には中古のNB1を考えていました。欲しい色を見ると10周年記念車がNRリミテッドを考えていたものの、これが結構相場が高い！いろいろと探しながら高くても買おうか、多少の程度は我慢して値段で妥協するか。。と悩んでいました。そうこうしているうちに年末になってしまい、なんとタイミングよくMVリミテッドが発売された訳です。その頃いちばん欲しかった中古のNRリミなどの相場が180万円ほどだったので「あと20万出せば新車になる！」と思いました。そうと決めたら決断の早いワタシ、年末に実車を見て年明けの1月3日にはディーラーで印鑑を押してしまったのです(笑)



New 梶浦号

す。だってリモコンでトランクまで開くんですよ。スーパーに買い物に行った時には本当に便利だなと実感します。ネイルアートを趣味にしている爪の長い私としてはキーレスは本当にありがたいです。他にもクルマを持っている人は別ですが、ロードスター1台で生活している女性にとってはとても便利なのではないでしょうか？

キーレスのトランクオープンはエンジンがかかっていると間違えて押しても開かないようにちゃんと考えられていますし、開くと同時にちゃんとナンバー灯を利用したライトもつくので、暗い場所での開閉にはとっても便利です。こうして私は数年前には絶対にならない！と思っていたNB2オーナーになりました。人って変わるものですよ(笑)(梶浦昌代)

しかし、ひとつだけ心配な事が1つありました。MVリミテッドは1.6Lってこと。私が乗っていたNAは1.8Lだったし、今まで試乗したことのあるNBは全部1.8L。私の使い方は8割以上は買い物などの街乗りだから、それほど問題ないかなあ...とか、革シートの色が気に入ったし...と半ば自分に言い聞かせて印鑑を押したのでした。とは言うものの、200万円以上の高い買い物ですから、印鑑を押してから「やっぱり1.6Lを試乗してから決めればよかったかなあ？」などMVが来るまで心配の毎日でした。ハンコをつけて待つこと2ヵ月あまり。いよいよナンバーも付いてディーラーにMVを引き取りに行きました。私にとってはじめての新車。やっぱり嬉しいですよ。新車だから当たり前なんですけど、納車直後はあちこちがカキコキしている感じがして「なんだかなあ...」と思っていたのですが、走行距離が2000キロを超えたくらいから各部がだいぶ馴染んできた感じがしてきました。心配していた1.6Lのことも、さすがに新しいクルマだけあって乗りやすいし、なんの不満もなかったから、むしろ大満足といったところで。

NAの頃は「そんなのいらないよ！」と言っていたキーレスも実は使ってみると、とーっても便利なんです

## 【続・老体ユーノスの運命】

限りなくノーマルの1991年式ユーノスロードスターVスペシャル。その後をお知らせします。

アルファ147を申し込んだ翌日、ちょっとウキウキしていると、会社の上司から「今年は赤字対策で年俵が減額される。」との情報が。いまさらキャンセルできないので、「まあどうにかなるか？」と思っていたロードスターの維持費を計算してみると...

駐車場は自宅に手で押し込めば、どうにか入る場所があるのでタダ。今後予想されるクラッチ、幌、タイヤなどの交換費や点検費、税金は月平均すると2万円。これを払い続ければ永久に？維持できることになる。だが...2台目の147の保険は複数契約で割引されるものの、予想外にも7等級からになり、クラスもひとつ上。保険料は2.5倍。それならクルマ入れ替えて現在の等級を維持し、さらにユーノスをいったん解約した後、2台目に登録したら安くなるのではと、保険会社に聞いてみると、それは「ズル変え」と言い、できないとのこと。147の割高な維持費も考慮すれば、2台所有では我が家も赤字経営になってしまう恐れが！

147が来れば、ロードスターは月に一度ひとりでドライブを楽しむ程度。しかも駐車場は屋根なしに。走れずに朽ちていくのは一番つらい。思い切って手放すことにした。

と、理性でむりやり答えを出し、本当は気持ちの整理ができない状態でガリバーに見積もってもらおうと20万。「先日の車検に13万以上もかかっているんです。」と言っても、それ以上の価格交渉はお任せしてほしいとの回答。通常はオークションで約10万で仕入れて、40万円弱で売るそうだ。どうりで派手なCMをうてるはずだ。しかしこんなもんだらうと再び自分を納得させた。

一方、ERFC-MLにも「譲ります」とアップしておいた。本当に欲しがっている近くの人に引き取ってもらえれば、高く売れるだろうし、少しでも気

休めになる。自分で名義変更をすれば車庫証明、ナンバー変更を含めても5000円弱。しかも検2年付、正規ディーラー点検済ワンオーナーのお買い得車！

すぐに兵庫県のある人から連絡がありました。まさか東京までは来ないだろうから、売値が知りたいだけかと思って事務的な返事をしておいた。ところが「昔乗っていたNA6の軽快な乗り味をもう一度楽しみたい。現在、最終型NA8を所有しているが、どうもディファイしてもNA6のようにはならなかった。程度の良いNA6をずっと探していた。ぜひ見せて欲しい。」との熱烈なメールが届いた。何度かやり取りをして、3月中旬の土曜日、国分寺市の自宅まで来ていただくことになりました。

当日、約束の駅前でお会いすると、予告なく奥様とごいっしょ。奥様は妻とお茶を飲んでいてもらい、私たちはクルマのチェックと試乗に。ありのままの姿を見てもらおうと、問題点経歴などをお話しながら30分ほど走ってもらった。かなり気に入っていただいたようで、自宅に戻ると早々にお譲りすることになりました。奥様は納得しているのか、何も言わず、いたってクール。ところが、後で妻から聞いたのですが、これで奥様の通勤用ドイツ車とあわせ合計5台。「彼のクルマはいつもどれかが修理に出ている、維持費にいくらかかっているかわからない。」そうです。しかもこの日、何しに東京まで行くのか知らされていなかったとか。「新幹線なのに地図やハイカを持っているし、お金も用意している。おかしいと思っていたんです。何かを決めるときはいつもこうなんです。」とも！

その人、月 旧一さんに譲渡用書類と3つのキーをお渡しし、お互いに写真を撮り、お別れとなりました。後姿を見えなくなるまで追っていると、なんだか、娘を嫁にやった気分？に。

ナンバーが多摩から神戸が変わっても、あのクルマが、そしてすべてのロードスターがこの世から消え去ったわけではありません。古いクルマを維持していくのも楽しいだろうけれど、思い出に浸っているようでは人生はおしまいだと自分を奮い立たせ、「今後10年は147を楽しんで、10年経ったらまた、ロードスターを含めクルマを考えよう。」と決心し、やっと気持ちの整理をしたのであります。(No.473 片貝智)



左が片貝さんご夫妻、右が月さんご夫妻

## 【淑女組通信】

行ってきました汗蒸幕！何年も前から憧れて、とうとう現実に体験することができました。そこで、今回は私の汗蒸幕体験記をお届けしたいと思います。

ちなみに、汗蒸幕とは簡単に言うと韓国式サウナです。石を積み上げてドーム型をしているもので、よくTVなどで女性が麻袋をかぶってドーム中で座っているものです。効能、その他の詳細に関してはガイドブック等の正確な情報をご参照ください。今回は、私の独断と偏見に満ちた体験レポートでございます。

まず、私の汗蒸幕体験は、その場所選びから始まりました。インターネットを使い日本語で検索を行っても、いくつかの韓国やソウルを紹介したサイトが見つかります。その中で、そのサイトを通して予約すると多少の割引や特典がついているというところで紹介されているお店のメニューを見比べ、お値段を見比べました。基本コースはどれも似たようなメニューで、値段もさほど差がありません。さあ、困った、何を基準に選ぼう…？となりましたが、多少の値段の差とホテルからある程度の距離を目安にしました。あとは、送迎してくれるかどうかでした。旅行者には、この送迎というのは大変ありがたいものです。よく考えているなあ…と感心しました。その分高いのかもしれないが…ね。基本コースには、汗蒸幕・各種サウナ・各種湯船・垢すり・マッサージ・顔パック・シャンプー・入場料等が含まれています。私は、この基本コースに加え婦人病に良いというヨモギ蒸し、顔のうぶげを絹糸で抜いていくといううぶげ抜き、全身の指圧マッサージ(カップリング付き)というオプションを付け加えました。

到着すると、まず着替えます。日本でいえば、健康センターと公衆浴場の中間くらいのイメージでしょうか？渡されたガウンもどきとヘアキャップのみを身に付けます。そして、呼ばれるままにうぶげ抜きの開始です。インターネットやガイドブックで情報だけは仕入れてあります。うぶげ抜きについては、少し痛いけど痒いような痛いような程度であるとなっていました。ところがところが、これが結構痛い！特に眉の周りのちょっと太い毛が抜かれるとかなり痛いのです。目の側ということもあり涙が滲みます。しかし、お金を出して付けたオプション、やめてなるものか…と我慢します。しかし、思うほどにはすぐに終わらず、さらに、ここがアジアの細やかさか、取りきれない毛は毛抜きを使って丁寧一本一本抜いてくれます。終わって、顔を触るとつるつるとしています。そりゃ、毛を全部抜いているのですから当然ですよね…。痛い思いをしたかきいもあるってものですかね。

そして、ガウンを脱いでお風呂場へ…。見た目は、日本の公衆浴場のような感じです。いくつかの大きい浴槽が並び、多少のシャワーのついた洗い場、そしてサウナなどがあります。ただし、奥の方に人が寝そべる大きさの台が並んでいることを除いて…。まずは汗蒸幕の方へ呼ばれ、そのまま麻袋を肩に掛けられ中に入ります。ちょうど時間が良かったのか、そのときは一緒に行った母と二人きりでした。不思議なことに、中には卵がお店で扱った箱の一段とかの単位でたくさん置かれていました。これって何でしょう？と疑問をもちつつも、麻袋に包まり床に座ってじっと汗が出るのを待ちます。途中何回かおばさんが片言の日本語で「ダイジョブ？」と聞いてきます。「大丈夫！」と答えながら10分15分もしたくらいでしょうか、やっと汗も出たので外へ出ました。

次は、ヨモギ蒸しです。座面に穴の開いた椅子に座るように指示されます。上から手のないマントのようなスモックのようなものをかぶせられます。このマントの素材は、駐車場がかぶせる自動車カバーのようなイメージのものでした。そして、椅子の下にくぐくつと煮立った土瓶が置かれます。一汗かいた後だけにあつという間に汗が流れてきました。途中、「アツイ？」とおばさんが聞きます。「熱いと」答えたら、マントを少し開けて温度調節デモしてくれたのでしょうか…？言ってみればよかったです。そうして、15分も座っていたのですかねえ…？取り立ててすぐ効能が分かるというようなものでもなく終わってしまいました…。

この蒸しの間、現地のおばさんと思き方が大きいキュウリを何本も持って入ってきました。日本のキュウリより太くて大きいもので、ズッキ

一二のようでした。これをざざと洗うと手分けしておし始めます。「おっ、これが噂のキュウリバックの元？」と思いながら、キュウリバックってそのままおろすだけ…？なんて思っていました。ヨモギ蒸しのあとは、シャワーで汗を流して湯船に入りました。ルイボスティー湯、高麗人参湯、緑茶湯がありました。順番に入ったあと、黄土サウナに入りました。ここでは、おばさんが寝るといいと教えてくれます。黄土サウナは壁が黄土でできているようです。中には壁と同じ素材と思われる煉瓦ブロックが置いてあり、それをマクラに横になります。なんととっても、客は母と私の二人きり、好きなように出来ます。

ここでひとしきり過ごした後、外へ出ると湯船で待ってるように言われました。人のいない時間だったためか、垢すりの準備がまだできていないようでした。そのうち順番に、洗い場の奥のほうに並んでいる台の方に呼ばれました。そばに寄っていくと、いわゆるベビーオイルと牛乳パックが目につきました。えっ？これ使うの？という疑問を持ったものの機械的に指示を出してくるおばさんには抵抗できず、いわれるがまま台の上につ伏せに寝ます。そして、やおらおばさんが、ザリザリと足元から垢すりを始めます。一通り終わると、今度は横を向くようにいわれます。そして次は仰向けに…反対側の横向きに…途中足をずらしたり腕を上げたり…やってもらいながらも、うーんこれはかなり恥ずかしいカッコをしているに違いない！などと思いつつもザリザリ・ザリザリされておりました。2回か3回もしたでしょうか、やっと垢すりは終了しました。母は、かなり垢が出たらしく手を持って垢のすこい部分を触らせられたそうです。

これが終わると、本当に簡単に石鹸で体を洗ってくれます。そして、顔にはきゅうりパック、体はオイルマッサージでした。日頃、首・肩の凝りに悩まされているのでよくマッサージや整体などお世話になっている私としてはかなり物足りないものですが、何はともあれ基本コースに含まれているのでなすがままにお任せしておりました。オイルマッサージが終わると次は牛乳の出番です。顔にもちょっとならつけられ、体もざざざーとなでる感じです。最後にシャンプースをしてくれて、基本コース終了となりました。台の上で転がされていたトドがやっと開放されたと言うところでしょうか…。

しばらく垢すり台の上に寝ていたのが体が少し冷えてしまい、湯船にでも入ろうかな？と思っていると、今度は塩サウナに入るようにいわれます。ちょっと冷えた体にはちょうどよい感じでした。ここでは、塩を自分で塗ってマッサージするようですが、あまりきれいな塩ではなかったので、足でちょっと触ったくらいで出てきちゃいました。

この後、憧れの汗蒸幕にせっかく来たのだからと再度入りました。このときは麻袋を掛けてくれません。「麻袋は？」という身振りで聞くと、「いらぬ」と身振りで返されそのまま入りました。後からガイドブック等を読み返すと、麻袋はより発汗を促すのと熱すぎる空気をささげるためのようで、必ずかぶらなくてはならないものでもないようです。ちょっと寂しい…。

あかすり以外は、痒いところに手が届かない感じで、もう一度自分で体を洗って、シャンプーしようかしら？なんて思っていました。薬草風呂やその他のいろいろの効能があるので、あまりごしごし洗わない方がいいということだったので、今回は我慢してさっと流してあげました。

そして、最後のオプションの指圧マッサージです。うぶげ抜きと同じおばさんがこのマッサージもするようで、他の人のうぶげ抜き終了待ちでした。しかし、先程自分がやっていたときには見る事の出来なかった、手元を見るチャンス！じっくり観察しましたが、何をどうしているものやら、結局分かりませんでした。

最後に指圧マッサージを受け、カッピングで背中丸いあざを作ってすべてのコースは終了致しました。このマッサージも、平日頃受けているものと比べると…ね。

着替えると、なぜかみかんをくれました。さっさと着替えている母は、すでに一個食べ終わっていました。私は、食べる間もなく帰ることになったので、「じゃあ一個貰って行きます。」と言ったら、一個といわずと、ごそごとたくさんくれました。別に日本と変わらない感じのみかんだので、何も韓国で食べなくても…と思っていたのですが…。うーん、ここでもアジア的なサービス精神？と思いながら、頂いて帰りました。でも、母はうれしかったようです。なぜ、日本のおばさん(おばあさん)はこうゆう物を喜ぶのでしょうか？これもまた、常々感じている疑問なのですが…。あれ？うちの母だけですか？こうして、長年の夢、汗蒸幕体験は終わったのでした。今回は、私の兄も一緒でした。男性用もほぼ同じ内容みたいです。男女別(本当にお風呂屋さんみたいですよ。)ですが、中でちゃんと相手が終わったかどうかなど教えてくれるので、カップルでも問題ないですよ。皆様も、体験してみたいかたがどうでしょう！？

ところで、汗蒸幕の中の卵の疑問は、兄により解決しました。私達のみかんをもらったように、兄はゆで卵をもらったそうです。温泉卵ではなく、ゆで卵になるのねえ…と感心していました。でも、男性用の汗蒸幕の中には卵はなかったそうです。

ちなみに、翌日お風呂上りにボディローションを塗っていると、お肌が…つるつる…。とても気持ちよかったです。これが、垢すり効果なのねえ…と実感しました。(高橋@金庫番(ち))

## 【ローカルミーティングのオススメ】

ところで E.R.F.C. って、意外に会員どうしの交流って少ないような気がしませんか？メーリングリストの方ではしばしば行われてきた「局地的突発的オフ会」のようなことをクラブ内でも思い思いに開催して、これまで以上に親睦を深めていただければ面白いのではと思うのですがいかがでしょうか。告知などは会報をご利用下さい。「やりたいけど、集め方・集まり方がよくわからない」という方には、ご連絡いただければ協力させていただきますので気軽に声をかけて下さいね。

## 【編集後記】

ちょっとだけマイナーチェンジした会報、いかがでしたか？情報速度の点では、時流のメディアから見たらウサギとカメ以上の開きがあるような会報ですが、会員をつなぐ唯一の情報源ではあります。遅いなりにキチンと出したいと思っておりますのでよろしくお祈りします。

ひでまる編集長、印刷担当高橋さんそして進行担当の私で連携プレーとなりますが、紙面が面白くなるかどうかはひとえにみなさまの投稿や情報にかかっています。身近な話題やオフ会の報告など、どんなことでも結構ですから、思いついたらいつでも情報をお寄せ下さい。お待ちしております。(NO.26 会報進行 パパヒラグチ)

ちょっとどころか、ずいぶん変わっちゃいました(笑)。スタッフの協力体制とともに、編集に使うアプリケーションソフトも変更したんですが、使い方がぜんぜんわからなくて…。なんだか学校や会社のレポートみたいな体裁になってしまいました。これから習得しつつちょっとずつ変えていくつもりですので、未永く、温かい目で見守ってやってください。

そんなことより、もっと大事(?)な報告ですっ！ついに、ウチの黄色いユーノスが帰ってきました。足回り一式を譲ってもらったSスベ用にしたら、久しぶりのノーマル車高。なんだか自分でも見慣れないんですが、みんなには「ラリーカーか？」ってからかわれてます。でも、走るとちゃんとぼくのクルマです。ぜったい間違いありません。よかったー。しかも、4ヶ月も動いてなかったのに10年無交換のバッテリーはぜんぜんだいじょーぶでした。ご心配いただいたみなさま、ありがとうございます。どこかで黄色いユーノスを見かけたら、ぼくじゃないかもしれないけど、声をかけてみてくださいね。(No.590 ひでまる)